

課題名

32. ビニールマルチによる水分ストレスの時期及び期間と果実品質

成果の概要

- (1) 収穫時の糖度には8月8日から10月6日までの水ポテンシャルの積算値との相関が高かった。
- (1) この期間の水ポテンシャルの積算値と収穫時の糖度との関係は系統でやや傾向が異なり、水ポテンシャルの増加に伴う糖度の上昇は興津早生で大きかった。
- (3) 収穫時の糖度が13度になる日ポテンシャル平均値は興津早生で6.9、久能温州で7.3であった。
- (4) 収穫時の酸含量と水ポテンシャル積算値との相関は糖度に比較するとかなり小さかった。
- (5) 糖度を高めるのに効果的な期間のポテンシャル積算値と酸含量との相関は収穫時の酸含量よりも10月下旬の酸含量の方が大きかった。
- (6) このことは収穫期を遅くすると水ストレスの酸含量への影響は小さくなることを示している。

成績概要

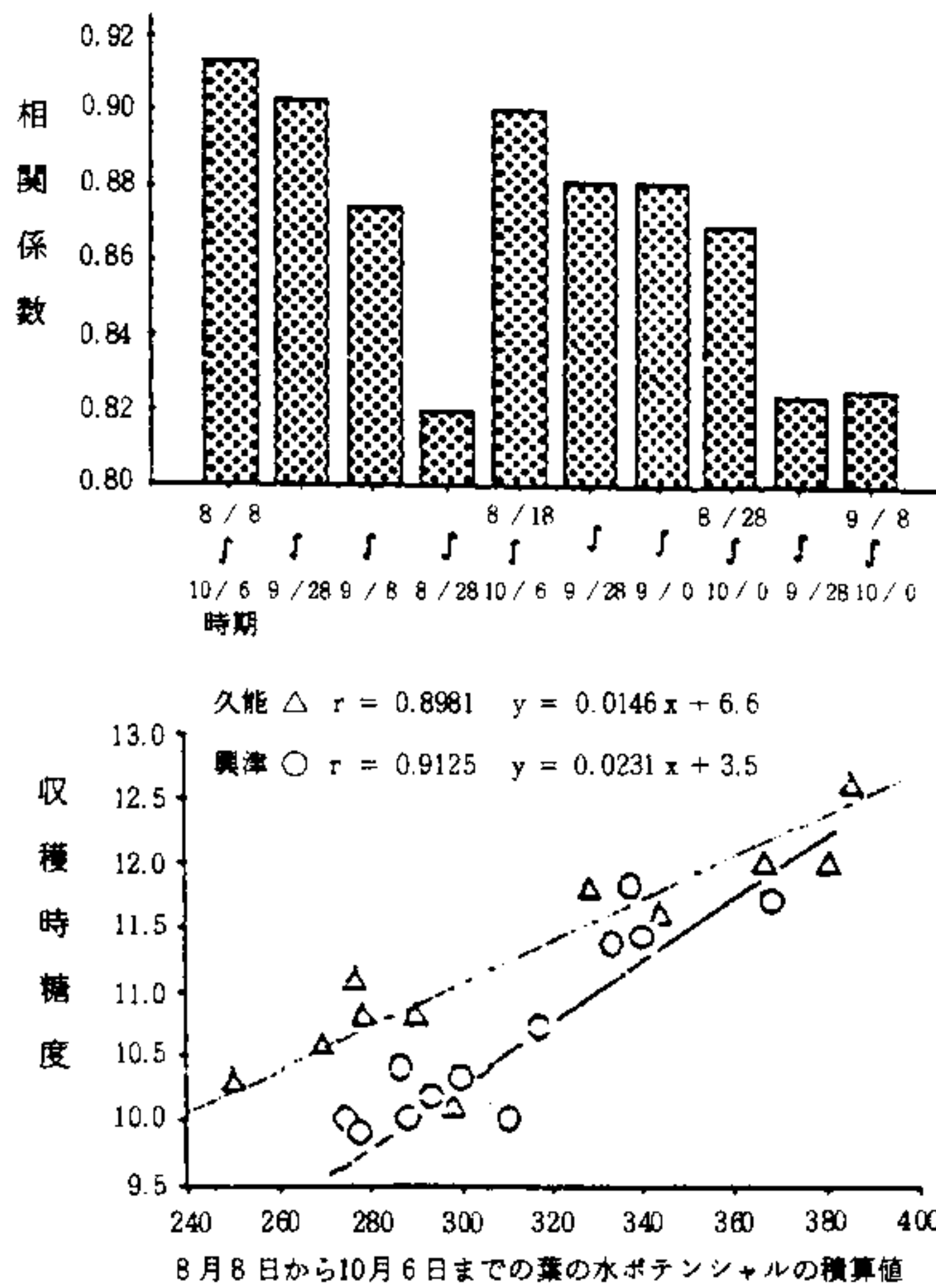
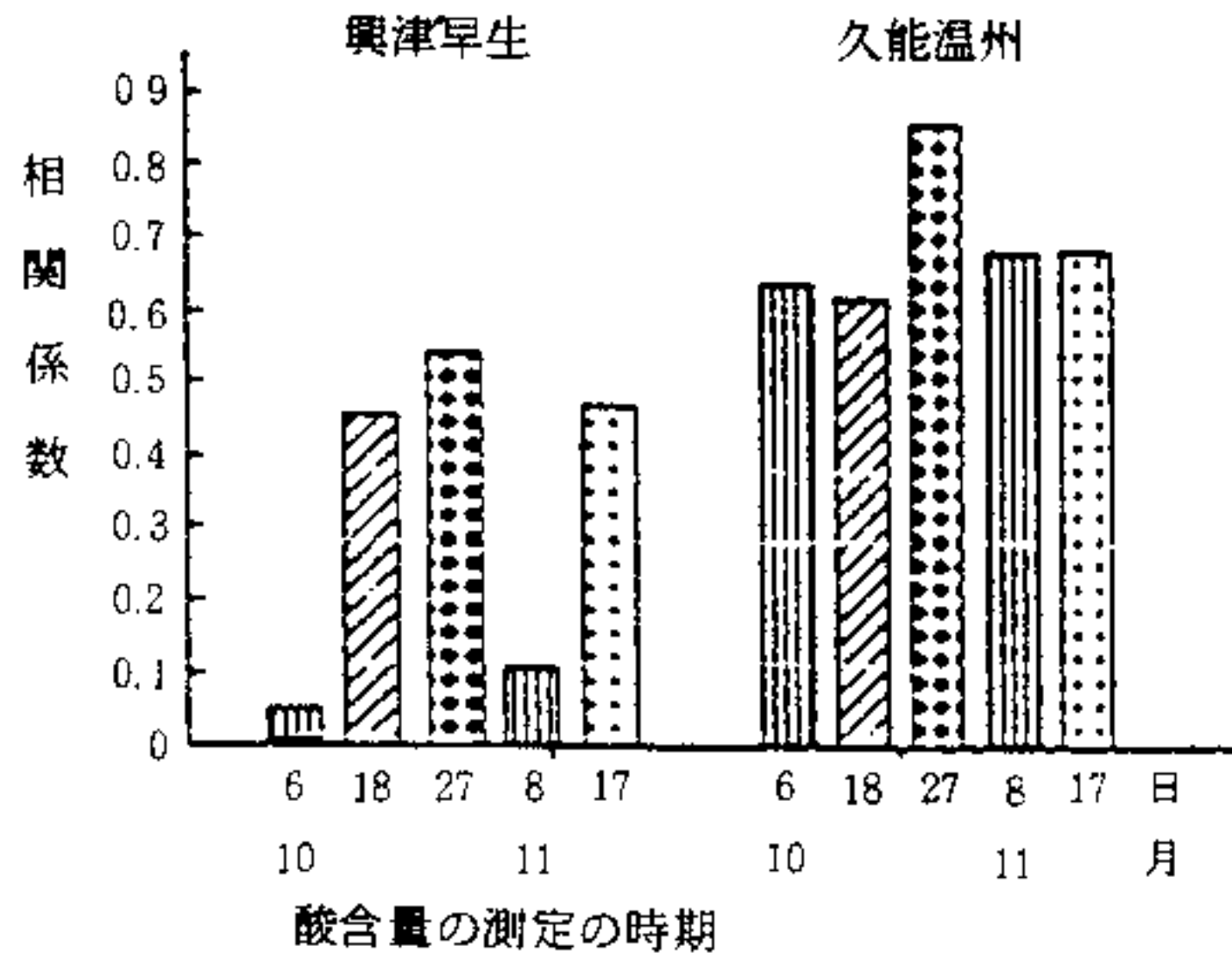
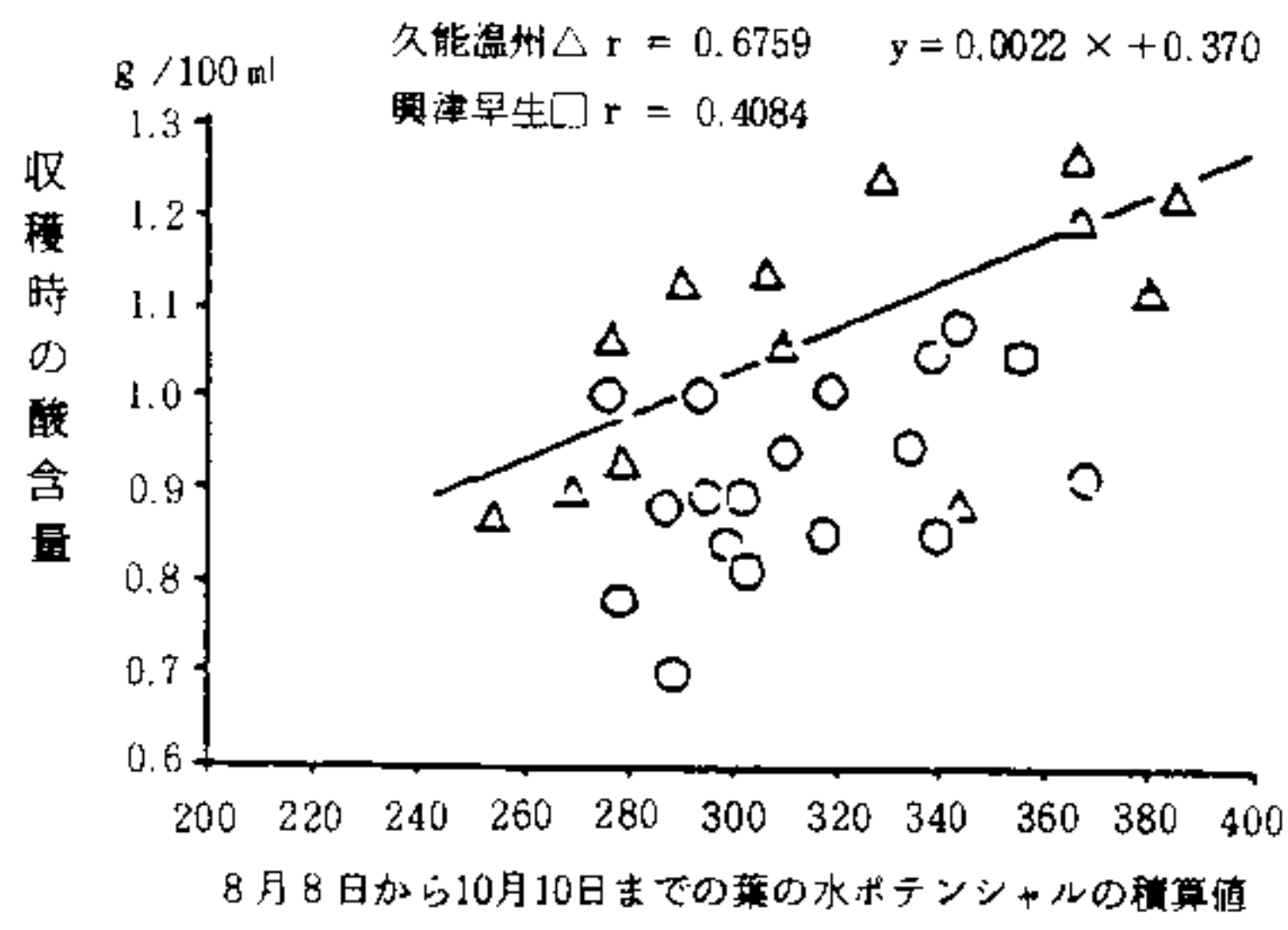


図1 8月8日から10月6日までの水ポテンシャル積算値と収穫時の糖度との関係

成



績



概

図2 8月8日から10月6日までの水ポテンシャル積算値と収穫時の酸含量との関係

要

(果樹試験場)

普及上の留意点